

発言者	内容
司会（会長）	音楽科の教科用図書について審議する。 教育出版、教育芸術社について、それぞれいかがか。
委員	タンギング等の技術・技能面、系統性についてどうか。
委員	教育出版は、3年のリコーダー学習への繋がりを考えて、1年の鍵盤ハーモニカの学習においてもタンギングの指導を重視している。教育芸術社は、楽しく音楽に取り組むことを重視している。技能面もしっかり身に付けさせることを考えれば、教育出版の方がよい。 タンギングについては、最近の専科の先生はあまり詳しく指導しない。音楽会などで見ると、鍵盤ハーモニカで同じ音をひく時も児童の指が動いている。
委員	中学校では、技術的なことを言う。どこの段階で伝えるかは問題である。
委員	ベテランの先生は鍵盤ハーモニカでもタンギングを教えている。
委員	鍵盤ハーモニカではなく、リコーダーで教えるという先生もいる。技能習得面では、教育出版がよいと思う。
委員	教育出版は、1年でタンブリンとトライアングルとカスタネットのたたき方が一度に教えられる。教育芸術社は一緒には出てこない。一緒に出てきた方が、指導しやすい。教育芸術社は、トライアングルの叩き方の指導では、小さい叩き方、大きい叩き方など詳しい。
委員	教育出版は、教育芸術社より高い到達点を目指している。
委員	教育出版はフレーズ、和音、音階、音楽の表現等、指導内容が難しく、教師の高い指導力が求められる。
委員	教育出版は、楽譜や歌詞を見やすくしている点もよい。
司会（会長）	本委員会は、教育出版を推薦する。

